

令和4年度 事業報告

我が国の景気は一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直しています。先行きについては、ウイズコロナの下で各種政策の効果もあって、景気の回復が期待されています。

ただし、ウクライナ情勢や世界的な金融引締め等が続く中、海外景気の下振れと円安傾向等が我が国の景気を下押しするリスクとなっています。

また、エネルギーコストの高騰や、物価の上昇等の影響に十分注意する必要があります。

このような状況の中、当協会は川崎港の振興発展に向けた諸事業を様々な工夫を施しながら取り組み、ほぼコロナ禍前の水準で実施するとともに、市民に開かれた港づくりを中心に、更には港湾関係者の利便性の向上と福利厚生の実現を図り、川崎港の振興・発展に資する事業を積極的に推進しました。

【公益目的事業－1】

——川崎港の国際競争力を強化し利用を促進する事業——

1. 港湾の国際競争力の強化のための港湾施設の整備促進及び運営の改善

・「利用しやすい川崎港づくり推進協議会」の運営に関する事業

関係官民19団体で組織する「利用しやすい川崎港づくり推進協議会」の事務局を川崎市港湾局と協力して担い、各参加団体より提出された課題について協議会の傘下にある「改善部会」で一括して取り組んできた。「改善部会」では、東扇島地区及び川崎港全般に関わる課題に取り組み、上記課題の進捗状況を検討、確認する場として改善部会を開催することとし、令和4年11月24日に改善部会小委員会を開催し、進捗状況報告書の内容を再確認した後、令和5年1月30日に改善部会を開催した。

また、「利用しやすい川崎港づくり推進協議会」を令和5年3月28日に開催し、令和5年1月30日の「改善部会」において報告された事項について、確認を行った。

(1) 第1回「改善部会」小委員会の開催

日 程 11月24日

議 題

ア 課題の進捗状況確認

- ① 港湾施設（バース）⇒夜光物揚場は令和5年度以降も継続して工事
- ② 港湾施設（荷捌場）⇒東扇島外貿バース2号、3号周辺の路面整備
- ③ 港湾施設（道路の陥没等が見られる）⇒千鳥町地区10件、東扇島地区9件を軽易工事に対応
- ④ 港湾施設（照明灯・接岸灯が暗い、少ない）⇒令和4年度は内貿東扇島21号～23号岸壁背後の荷捌照明に対応
- ⑤ 交通（トラック待機所）⇒企業訪問によるトラック待機所利用頻度促進

- ⑥ 交通（違法駐車取締まり等）⇒台切シャーンは監視指導員強化によりゼロ
荷待ちトラックは監視カメラによる抑止力による抑止効果
- ⑦ 環境改善（東扇島島内の美化（ゴミ対策））⇒神奈川県トラック協会のホームページにゴミの多い場所を掲示。QRコードを用いた監視カメラ設置の周知
- ⑧ 規制・制度・料金（港湾施設利用料）⇒上屋荷捌料金の見直し（官民共同でワーキンググループ設置）

(2) 第1回「改善部会」の開催

- 日 程 1月30日
- 議 題 ア 課題の進捗状況確認
改善部会小委員会での議題確認
- イ 新規課題
- ウ その他

(3) 「利用しやすい川崎港づくり推進協議会」の開催

- 日 程 3月28日
- 議 題 ア 改善部会の活動状況、課題の進捗状況について
- イ 新規課題
- ウ その他

2. 貨物の集荷及び船舶の誘致活動

(1) 「川崎港戦略港湾推進協議会」ポートセールス部会の活動

「川崎港戦略港湾推進協議会」(平成23年9月設立)は、川崎市、川崎商工会議所、川崎港運協会、及び川崎港振興協会の4団体で構成され、コンテナターミナル利用の一層の拡大を図るための課題や方策を検討し、集荷とサービスレベルの向上を目指して、活動を行っている。推進協議会の会長を当協会の齋藤 文夫会長が務め、推進協議会の下部組織である2部会（ポートセールス部会・施設計画部会）のうち、ポートセールス部会の事務局を当協会が担い、施設計画部会には委員として参加した。

コンテナターミナルでの取扱数量は、令和2年度に初めて16万TEU超えを果たしたが、コロナ禍により令和3年度に約12万7千TEUに減少し、令和4年度も川崎港の主要取扱港である、中国各地のロックダウンによる日本向け貨物の出荷停止、コンテナ航路配船スケジュールの混乱・遅延やこれに伴う空コンテナ不足等の影響を受け、約11万TEUに減少した。

ア ポートセールス部会開催及び施設計画部会へ参加

- ・ 第1回ポートセールス部会の開催
 - 日 程 6月30日
 - 議 題 ①令和3年度 活動状況について
②令和4年度 事業計画について
③その他（海外ポートセールス等）

- ・ 第2回ポートセールス部会の開催

日 程 11月9日

- 議 題 ①令和4年度 上半期の事業活動について
 ②今後のセールターゲットについて
 ③顧客動向・営業状況の現状
 ④その他（S I T C航路開設10周年記念、国際物流展 他）

・ 第3回ポートセールス部会の開催

日 程 3月14日

- 議 題 ①令和4年度 事業報告書（案）及び収支決算書（案）の承認
 ②川崎港を取り巻くマーケット状況について
 ③タイ出張報告
 ④川崎港コンテナターミナルの状況について
 ⑤令和5年度 事業計画（案）及び収支予算（案）の承認
 ⑥その他

・ 第1回施設計画部会へ参加

日 程 3月16日

- 議 題 ①コンテナ関連施設供用後の路面標示等の安全対策について
 （コンテナ関連施設整備検討会議の検討状況）
 ②コンテナ荷役機械（RMG2号機）の整備について
 （コンテナ荷役機械等整備検討会議の検討状況）
 ③その他・意見交換

イ 国内ポートセールスの実施

- ・ リーファー貨物への取り組み強化（各冷凍会社への訪問）
- ・ 輸出貨物獲得に向けた取り組み
 手厚くした輸出貨物補助金制度を利用した輸出顧客獲得
 ONEのJ I D航路復活による三菱・ふそうトラックバスの輸出貨物回復
 中古自動車、自動車部品関連、危険品タンクコンテナの取り込み
- ・ 新規荷主の取り扱い拡大
 家電、アパレル、日用雑貨など幅広い品目

ウ 友好船社対応

- ・ 南星海運25周年記念意見交換会実施（5月23日）
 参加者 南星海運東京事務所 李 石所長、平田社長 他3名
 川崎港振興協会 齋藤会長、
 川崎港運協会 西会長、一部会 福地会長、
 川崎市港湾局 磯田局長 他3名
- ・ S I T C青島航路開設10周年意見交換会実施（12月22日）
 参加者 S I T Cジャパン 張社長、山口役員、村上様 他2名、
 川崎港振興協会 齋藤会長、川崎市港湾局 磯田局長 他5名
- ・ S I T C、ONE、ワンハイ、南星海運ジャパンとの定期交流
 （4月、7月、10月、11月、12月 他）

エ 海外ポートセールス活動

- ・ 令和4年度活動計画の中で、海外ポートセールス、シッパーセールスを方面へ

実施する予定であったが、各国での新型コロナウイルス感染症拡大により出入国管理の厳しい状況が継続していたが、タイの入国規制が緩和されたことから、令和5年1月にタイへのポートセールスを実施した。

実施日 1月17日～1月21日

出張者 川崎市港湾局 誘致振興課長 他ポートセールス部会委員4名

訪問企業 SITCタイ、NXタイ、キングフィッシャー、ニッスイタイ、ミネベアミツミ、日本ハムグループ、スターゼン、タイフードグループ等

(2) 川崎港振興協会独自のポートセールスに関する事業

荷主企業及び船会社、フォワーダー等物流企業を訪問し、コンテナターミナルの更なる発展に向けて情報収集及び川崎港利用の誘致セールスを行った。

(3) クルーズ客船誘致に関する事業（インバウンド等誘客に関する事業）

川崎港の利用促進につながる観光事業の一環として、クルーズ客船誘致事業の展開方法等を模索するため、クルーズ船誘致を実施している金沢港を運営している石川県庁を訪問し、今迄のクルーズ船誘致の流れについて調査した。

3. 京浜3港広域連携に関する事業

京浜3港広域連携に基づき、川崎・横浜・東京の各港湾管理者、振興協会及び港湾運営会社との連携は新型コロナウイルス感染症拡大の影響で実施を見合わせた。

4. 初入港船歓迎行事

川崎港に初入港する船舶の乗組員に記念品等を贈呈し、歓迎の意を表することにより、川崎港をPRした。令和4年度は、合計で17隻の外航船が初入港した。

4月	2隻	8月	0隻	12月	0隻
5月	1隻	9月	0隻	1月	0隻
6月	5隻	10月	4隻	2月	1隻
7月	1隻	11月	1隻	3月	2隻

5. 国際交流事業（友好港、友好都市との交流事業）

友好港、友好都市との交流事業については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により実施を見合わせた。

6. 「川崎港便覧」の製作・販売

川崎港港域内の港湾施設、企業名等を記した地図に行政機関、施設使用料、統計資料等を掲載した川崎港便覧を作成し、ポートセールスに使用するほか、川崎港利用者等に頒布した。

2022年版 川崎港便覧

発行日 7月31日

発行部数 日本語版 3,500部 英語版 350部

7. その他の振興事業

(1) 広報について

川崎港の振興及び当協会の事業を広報するため、川崎フロンターレの主催試合イベントへPR出店した他、業界紙及び地域情報誌等に情報を提供した。

【PR出店】

8月 7日 川崎フロンターレの主催試合イベントPR出店

【情報提供先】

7月20日 日本海事新聞「海の日記念特集号」

7月29日 タウンニュース川崎区・幸区版「暑中見舞い名刺広告」

1月 1日 タウンニュース川崎区・幸区版「元旦号年賀名刺広告」

1月 1日 日本海事新聞「新年特集号」

【公益目的事業—2】

——港湾施設を核に、市民に開かれた港づくりの推進を図ることと併せて港湾の利用促進を図る事業——

1. 市民と港を結ぶ事業

川崎港の役割及び海事思想について市民の理解を深めるとともに、川崎マリエンの利用を促進するため、令和4年度は次の事業を実施した。

また、各事業を実施するに当たってアンケート等を行い、事業効果を確認して、その後の事業の参考とした。

(1) 第49回川崎みなと祭りの開催

川崎港への市民及び港湾関係者の理解を深め、川崎港に対する親近感を高める機会を提供するため、「みんなの川崎港」をテーマに関係機関・団体と連携、協力して、「第49回川崎みなと祭り」を開催した。開催にあたっては、感染症対策を講じながら、7月の「親子海釣り教室」を皮切りに年間を通して合計17回のイベントを実施すると共に、10月には4年ぶりとなるメインイベントを開催した。

【メインイベント】

・開催日 10月8日・9日

来場者 117,072人

【イベント】

・親子海釣り教室 2回

・川崎港見学ツアー（一般・教育関係） 5回

・はだしの運動会 1回

- ・みんなで考える海洋環境教室 2回
- ・親子工場夜景クルーズ 3回
- ・川崎港クルーズ 4回 計17回

(2) 映画上映会の開催

マリエンシアターで小学生以下の子供とその保護者を対象に、夏季と冬季に各1回の上映会を開催する予定であったが、夏季は新型コロナウイルス感染症拡大のため延期とし、秋季に開催した。また、冬季は感染拡大傾向にあったことから延期とし、春季に開催した。

- ・上映日 9月17日
上映作品 「SINGネクストステージ」
来場者 30人
- ・上映日 3月11日
上映作品 「映画すみっこぐらし 青い月夜のまほうのコ」
来場者 45人

(3) 初日の出観賞会の開催

令和4年度は前年に続き3密を避け、新型コロナウイルス感染拡大防止対策としての検温・消毒を行い、昨年度より若干の定員増とし、70人の事前応募制にて開催した。

- ・参加者 60人

(4) 夏休み工作教室の開催

今夏は、8月20日、21日に開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大傾向から同教室の開催を延期とし、2月に冬の工作教室として開催した。

- ・開催日 2月19日
参加者 ボトルシップ教室 36人
ボトルアート教室 16人

(5) 夏休み海洋環境教室の開催

東扇島東公園人工海浜において、小学生とその保護者を対象に専門家の指導による水産動植物の観察や生態の調査を行う体験学習活動を実施し、川崎の海に親しむとともに海洋環境保護の大切さを学んだ。

- ・開催日 7月25日
参加者 36人

(6) ボトルシップ工作教室指導者養成コースの開催

子供向けボトルシップ工作教室の指導者を目指す成人を対象として、基本から高度な技術まで修得できる養成コースを毎月1回、1年間で12回開催した。

- ・参加者 21人

(7) イルミネーション装飾及びライトアップの実施

クリスマスシーズンにイルミネーション装飾を実施するとともに、川崎市と協力して啓発キャンペーンの際には業務棟・交流棟壁面のライトアップを実施した。

- ア 自閉症啓発・発達障害啓発として、4月2日から4月8日までブルーライトアップを実施

イ 環境の日に伴い、6月5日にグリーンライトアップを実施

ウ 世界自殺予防デーに伴い、9月10日から16日にグリーンライトアップを実施

エ 世界脳卒中デーに伴い、10月28日から10月31日にインディゴ・ブルーライトアップを実施

オ 11月14日から12月25日までクリスマスイルミネーションを点灯

カ てんかんの啓発キャンペーンに伴い、3月20日から26日にパープルライトアップを実施

(8) 第12回川崎マリエン写真・児童絵画コンクールの開催

川崎港を身近に感じてもらい、川崎港に接する機会の創出のために京浜臨海部を題材とした作品のコンクールを開催した。

※入賞作品の展示は、3月31日～4月13日に川崎アゼリアにて行い、全応募者展示は令和5年5月20日～21日に川崎マリエン体育館にて行う予定

- ・応募資格 児童絵画の部は小学生以下、写真の部は制限なし
- ・応募期間 11月1日～1月31日
- ・応募点数 写真58点、絵画107点
- ・選考会 2月21日
- ・表彰式 3月21日

(9) フリースペースの貸出

川崎マリエン交流棟1階のコミュニティホールを市民グループ等の絵画・写真等の展示スペースとして利用できることをブログやチラシなどにより発信するとともに、年間を通じてミニチュアカーの展示を継続し、自動車の輸出港としてのアピールを行った。また、児童絵画・写真コンクールの入賞作品の展示を行った。

(10) 展示の充実

川崎港の統計データパネルを更新する等、川崎マリエンにおける展示の充実を図ることにより、タワー棟10階展望室、交流棟2階マリエンプラザ、1階コミュニティホールへの回遊性を高め、川崎マリエンの魅力度の向上を図った。

(11) 夏休み川崎港見学会の開催

夏休みを利用して小学生とその保護者を対象に、港湾局の巡視船「あおぞら」による港内見学やプリンス海運株式会社の自動車専用船の船内見学等を行い、川崎港の役割、重要性等の理解を深めた。

1回目	7月27日	5組	10人
2回目	7月29日	4組	8人
3回目	8月10日	4組	8人

(12) 川崎港魅力体験ツアーの実施

市民を対象に、港湾施設や市民利用施設を見学するとともに、夜間も活動を続ける川崎港と臨海部の工場群を海上から視察し、役割や重要性等を理解しながら、川崎港の魅力を体験するツアーを区役所との共催で3回開催した。

日 程	10月24日	麻生区	参加者	21人
	11月30日	宮前区	参加者	23人
	3月23日	幸 区	参加者	31人

(13) 港内案内事業の実施

市民、研究者、事業者等を対象に巡視船を利用して海上から川崎港を案内する業務を当協会が受託し、令和4年度は、合計10回の案内業務を実施し、202人の乗船者に川崎港の歴史、機能、役割、重要性等についての説明を行った。

また、東扇島防災浮棧橋を活用した港内観光などの実施に向けた平常時利用を図るため、川崎市及び関係事業者を含めた協議会に参画し事務局を担った。

(14) スポーツ教室及び大会の開催によるスポーツの振興

川崎マリエンの体育館、テニスコート、ビーチバレー場、トレーニング室を利用して、各種スポーツの競技人口の拡大と併せて施設の利用を促進するため、教室及び大会を開催した。

夜間バドミントン教室は10月から3月まで体育館の天井改修工事が実施されたため春の部・夏の部として開催した。

- ・夜間テニス教室／春の部 5月19日～6月16日実施
全8回 117人参加
- ・夜間テニス教室／秋の部 9月12日～10月31日実施
全8回 119人参加
- ・夜間バドミントン教室／春の部 5月17日～7月5日実施
全8回 70人参加
- ・夜間バドミントン教室／夏の部 7月26日～9月20日実施
全8回 58人参加
- ・昼テニススクール 4月6日～3月29日実施
全45回 162人参加
- ・昼テニス大会 4月12日～3月14日実施
全11回 119人参加
- ・日帰り研修／ビーチバレーボール 4月10日～10月30日実施
全5回 60人参加
- ・日帰り研修／ビーチテニス
第1回 11月3日実施 14人参加
- ・ビーチバレーボール大会
第1回 11月27日実施 15人参加
- ・ビーチテニス大会
第1回 2月12日実施 10人参加
- ・トレーニング教室 6月16日～3月16日実施
全10回 15人参加

(15) ニュースポーツ普及事業の実施

川崎マリエンを利用するニュースポーツ普及のための講習会を4回開催した。

- ア 第1回 5月21日実施 14人参加
実施種目 カローリング、室内ペタンク
- イ 第2回 6月18日実施 19人参加
実施種目 クップ、ディスクゴルフ
- ウ 第3回 7月23日実施 13人参加
実施種目 シャフルボード、スカットボール
- エ 第4回 9月10日実施 10人参加
実施種目 カーリンコン、ラダーゲッター

(16) 宿泊体験事業の実施

川崎マリエンの特色を発揮し、市民が川崎マリエンに親しむ機会を創出することにより、施設の活性化並びに川崎港及び川崎マリエンの新たな魅力創出につなげるため、青少年育成団体を対象とする研修を実施した。

- ・実施日 9月17日、18日
- 参加者 45人（2日間）

(17) 茶道教室の開催

和室を利用した伝統とおもてなしの心を体験する茶道教室を、道具の使いまわしを極力減らすなど、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じながら準備をすすめ、2年ぶりに開催した。また、教室の開催に先駆け、無料体験会を実施した。

- ・茶道教室 6月8日～3月23日実施
全20回 75人参加
- ・無料体験会 5月18日実施 6人参加

(18) 観光客の誘致

一般社団法人川崎市観光協会と連携し、一般財団法人夜景コンベンション・ビューローが主宰する「日本夜景遺産」に認定された川崎マリエン展望室等を観光名所として、国内外の観光客や修学旅行生に向けて情報発信を行った。

10月24日には、北海道の商業高等学校が修学旅行でマリエンを訪れた。

(19) 川崎港紹介資料の制作

市内小学校の社会科見学で来館する児童等の理解を促進するための副教材「川崎市ぐるっと探検」の配布を行った。

- ・来館校数 104校
- 生徒数 11,335人

(20) ワカメ祭りの開催

川崎の海の環境保全の大切さを理解する機会を提供するため、関係団体と連携、協力して、川崎港内で養殖したワカメの種付け会、見学会、収穫祭を予定していたが、令和4年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、実施を見合わせた。

(21) 野鳥及び樹木の保護・観察

環境保護活動の一環として、野鳥及び樹木の保護・観察の観点から市民参加型事業を検討し、川崎マリエン及び隣接する東扇島中公園において、市民参加による「野鳥及び樹木の観察会」を実施した。

・実施日 12月11日

参加者 52人

(22) スポーツ合宿の開催

川崎マリエンの施設利用、スポーツ振興を通じて川崎港の振興に寄与するとともに、オリンピックやトップアスリートによる指導・研修を受ける環境を提供し、次世代を担う選手を育成する事業として実施している。令和4年度は11月4日から6日までの3日間、23歳以下を対象に、ビーチバレー場にてビーチバレー実技の研修、研修室にてコンディショニング等の研修を開催し、14人の参加があった。

令和4年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止を考慮し、宿泊と通いは任意とした。

(23) 海苔づくり体験教室の開催

体験学習施設を利用して、市内の小学生を対象とした海苔づくり体験教室を環境保護団体と連携して計2回開催した。

・開催日 2月22日・23日

参加者 119人

(24) ドローン講習会の開催

ドローンの操縦法を学ぶ体験講習会を市内企業と協力して開催した。

・開催日 10月1日

参加者 4人

(25) 親子釣り教室の開催

子供たちが釣りの楽しさや海洋環境を学ぶことを目的に東扇島西公園において親子釣り教室を開催した。川崎港で釣りができることの認知度や東扇島西公園の「釣り施設」としての知名度を向上させ、更なる賑わいの創出と施設の活性化を図った。

・開催日 11月20日

参加者 14組28人

(26) 車両の駐車講習会の開催

川崎マリエンの駐車場を活用して、自動車の安全で安心な駐車や車庫入れの技術向上を目的に専門の指導員による講習会を開催した。

・開催日 10月22日

参加者 9人

(27) ビーチフィットネス／健康体操・ストレッチ教室の開催

ビーチコートや研修室を利用し、フィットネスやストレッチ等の健康維持や体力増進を目的とした教室を年2回開催した。

ア 第1回 開催日 7月11日

参加者 5人

イ 第2回 開催日 8月29日

参加者 7人

(28) なわとび教室の開催

市内小学生の体力増進となわとびの技術力の向上を図ることを目的として開催した。今年度は10月以降体育館の改修工事があったため、テニスコートにて実施した。

・開催日 3月11日

参加者 62人

(29) 夜景写真教室の開催

例年、写真撮影の専門家を講師に招いての座学と実技の夜景写真教室を開催しているが、令和4年度は秋以降の新型コロナウイルス感染者数の状況を受け、講師と相談の結果、開催をとりやめた。

(30) パブリックビューイングの開催

マリエンシアターの活用のため、初日の出鑑賞会と併催して令和5年1月1日早朝のNHKニュース、全国の初日の出中継等の放映を行った。

(31) 季節の工作教室の開催

季節を感じるアイテムとしてオリジナルのうちわや、川丸くんのペーパーモビールを作成する工作教室を開催した。

ア オリジナル風鈴づくり

・開催日 7月24日

参加者 58人

イ 川丸くんのはっぴづくり

・開催日 9月17日

参加者 35人

ウ 川丸くんペーパーモビール工作教室

・開催日 2月26日

参加者 71人

(32) さくらの時季の野点の開催

川崎マリエンの敷地に多くの桜の木が植えられていることから、桜の開花時季に茶道の先生による「さくらの野点」の開催を計画したが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催をとりやめた。代替イベントとしてマリエン9階リフレッシュルームにおいて、茶道教室の生徒により夜桜を見ながらのお茶会を開催した。

・実施日 3月22日

参加者 6人

(33) ふれあい移動動物園の開催

中公園で来園者による小動物とのふれあい体験を目的として計画したが、令和4年度は秋以降の新型コロナウイルス感染症拡大傾向をうけ、事業者と相談の結果、参加者の安全のため開催をとりやめた。

(34) 川崎マリエンあそびの日

令和4年度は9月4日に開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大傾向により2度の延期を行い、2月26日に開催した。また、今年度は川崎市、川崎市教育委員会からの後援を取り付け、川崎市子ども会連盟との共催として実施した。

・実施日 2月26日

参加者 409人

(35) キッズスポーツ体験教室の実施

子供を対象にパドルテニス、グランドゴルフ等の体験と講習を実施した。

・実施日 3月11日

参加者 62人

(36) 焼き芋をつくろう

東扇島中公園を利用し、子供たちも参加して野外で焼く楽しさや、食べる楽しさを体験できる焼き芋づくりイベントを開催した。

・実施日 12月11日

参加者 52人

(37) 中公園を花で飾ろう

東扇島中公園のベンチ横園路脇のスペースを活用して作った花壇に、市民参加による花苗を植えるイベントを行った。

ア 1回目

・開催日 7月24日

参加者 58人

イ 2回目

・開催日 9月17日

参加者 35人

(38) かわさき地産地消の芋煮会

野鳥及び樹木の観察会と同時開催した。

・開催日 12月11日

参加者 52人

(39) 夏の大納涼祭り

川崎港運協会、川崎海事広報協会、東扇島協議会の協賛で、東扇島北公園浮棧橋より納涼船に乗船し、川崎市内在住及び東扇島内企業在勤者及びその家族が川崎港の夜景を楽しみながら納涼気分を味わう夏の大納涼祭りを8月26日開催で企画したが、新型コロナウイルス感染症拡大により開催をとりやめた。

(40) 紙飛行機を作って飛ばそう

子供を対象に、世界大会も行われている紙飛行機「スカイキング」などを職員の指導のもと製作し、東扇島中公園で飛ばしてその飛行時間を競った。

・実施日 12月11日

参加者 52人

(41) グラウンドゴルフ体験会の開催

東扇島中公園において、グラウンドゴルフのコースを設置してグラウンドゴルフの体験会を開催した。

・開催日 2月26日（あそびの日に開催）

参加者 248人

・開催日 3月11日（キッズスポーツとして開催）

参加者 62人

(42) 樹木の名木板取付ワークショップ

子どもたちの環境保護の学習の場として、川崎マリエン及び東扇島中公園に植樹されている樹木の名木板取付けワークショップを開催した。

・実施日 12月11日

参加者 52人

(43) 夜桜のライトアップ

桜の開花時期に東扇島中公園の桜に提灯を吊るしてライトアップを行い、新型コロナウイルス感染症予防の注意喚起をしながら、訪れる市民にお花見の場所を提供した。

(44) 子どもの安全な自転車利用に関する啓発活動の実施

東扇島中公園の貸自転車利用者に対して、自転車の安全で安心な運転技術の向上を目的に、警視庁より発行されているリーフレットを配布し安全な利用の啓発に努めた。

(45) フットサルコート提供に向けた準備

川崎マリエン体育館の利用を促進することを目的とし、川崎市による体育館内床と壁の補修完了後の利用開始に向けた準備を行った。

(46) 定期演奏会の開催誘致

川崎マリエン体育館の多目的利用を促進する一環として、演奏会やミニコンサートの誘致を図るため、利用者向けに広報活動を行った。

(47) 中公園でのキャンプエリア開設

開設済みのキャンプエリアについて、隣接するバーベキュー場との併用による「バーベキューとキャンプ」や、桜の開花時期の「花見とバーベキュー」の広報により、キャンプ場やバーベキュー場の利用率の向上を図った。

・利用件数 日帰り 139件

宿泊 188件

(48) 川崎マリエン内へ写真撮影スポットの施設整備

マリエンのファン獲得とSNSによる情報拡散を目的として、インスタグラムフレームを展望室内にて自由に使用できるよう設置した。

(49) 共催・後援等事業の実施

川崎マリエンのビーチバレー場、テニスコートなどのほか、東扇島の市民利用施設の周知、PR、利用促進を図るため、イメージアップ効果のある各種大会を誘致するとともに、各種団体が主催する事業を積極的に共催・後援した。

[共催・後援した主な大会等]

ア 令和4年度川崎マリエンジュニア育成テニス教室

イ 第133回、第134回、川崎市実業団対抗テニストーナメント大会

ウ 神奈川オープンベテランテニス、ベテランウインターテニス、2022

エ バイクナビ・グランプリ2022 第20回、第21回 川崎マリエンデュエロ

オ ビーチバレー川崎市長杯

カ JBVチャレンジャーシリーズ2022

2. 港湾及び海事関係者の福利厚生事業

川崎マリエンのスポーツ施設、会議室、シャワー設備等や東扇島中公園を港湾及び海事関係者の利用に供するほか、様々な機能を活用して実施する各種スポーツ教室及び大会、ニュースポーツ普及事業、映画上映会等を開催し、川崎臨海部で働く人々のリフレッシュ、

健康づくり、交流の場とすることにより、福利厚生の実現を図った。

3. 川崎市港湾振興会館並びに東扇島中公園の管理運営

川崎マリエン並びに東扇島中公園の指定管理者として、設置目的に従い、また新型コロナウイルス感染症拡大防止対策をしっかりと行った上で、体育館、会議室・研修室、展望室、テニスコート、ビーチバレー場、トレーニング室、バーベキュー場、駐車場等の市民利用施設・設備及び港湾事務室を適切に管理・運営するとともに、快適な環境及び魅力ある施設の運営により利用者の拡大に努めた。

ア 体育館

利用可能なアマチュアスポーツ以外で、ダンスなどでの利用に供した。その他の利用目的にも対応し、小中学生のチアリーディングの練習等に貸し出しをした。

毎週木曜日及び専用利用がない場合は市民開放として貸し出した。

イ 会議室・研修室

利用促進を図るため、会議室及び研修室において使用料の半額化を継続した。また、ドラマ等の撮影場所として貸し出し、川崎マリエンのPRに努め、知名度アップに貢献した。

ウ 展望室

展望室と望遠鏡の無料化を継続するとともに、タッチパネルにより川崎港と周辺地域の様子を具体的に表示し、展望室からの眺望と併せて利用者の方々に楽しんで頂いた。また、ホワイトボードに季節に応じたキャラクターのマグネット等を設置し、来館者がより楽しめるような演出を施した。

エ テニスコート

利用者からの要望に適宜対応し、また備品管理を行い利用者の利便性の向上を図った。

オ ビーチバレー場

ナショナルトレーニングセンター競技別強化拠点として指定選手やトップアスリートの練習会場としての利用の他、ビーチバレーの関係団体と連携を図り、大会・練習会・講習会を開催や、川崎フロンターレホームゲーム開催時にビーチバレー体験コーナーを出店するなど、ビーチスポーツの普及に貢献した。

カ トレーニング室

利用者が、いつでも初回説明会を受けられるようにするなど、交流棟9階のトレーニング室利用に向けた適切な管理運営を行った。

また、交流棟2階のトレーニング場は、ビーチバレーアスリートのトレーニング場所として利用してもらうとともに、適宜備品管理を行い、利用者の利便性の向上を図り、ビーチスポーツの普及に貢献した。

キ 駐車場

管理運営を専門業者に委託し、より効率的な運営を行った。

また、駐車場の一部を継続して移動式水素ステーションに貸与するとともに、電気自動車用急速充電器の設置・管理を行った。

- ク 交流棟受付及びロビー、9階リフレッシュルームの季節の飾り付け等
川崎マリエンの季節感を出すために、職員自らが「春」「端午の節句」「七夕」「ハロウィン」「クリスマス」「お正月」「雛祭り」等の飾り付けを行った。
- ケ サービス向上委員会及び管理運営個別業務自己評価点検委員会の開催
川崎マリエンのより快適な環境及び魅力ある施設の利用者サービス向上を図るため、毎月1回受託業者間の情報提供や意見交換を行った。
- コ 会館入居者連絡会議の開催
川崎マリエン入居者への情報の提供や意見交換の場として「会館入居者連絡会議」を3回開催した。
- サ 川崎マリエン利用者懇談会の開催
川崎マリエンの運営及び事業について、市民及び利用者の意見を反映させるため、12団体から推薦された委員による年2回の川崎マリエン利用者懇談会を、3年ぶりに開催することができた。第1回を6月8日、第2回を3月9日に開催した。
- ・構成団体名
川崎区連合町内会、川崎区スポーツ推進委員会、川崎市立小学校、
(公財)川崎市スポーツ協会、川崎市バレーボール協会、川崎市テニス協会、
川崎マリエン・ボトルシップ会、(一財)川崎港湾福利厚生協会、東扇島協
議会、港湾局川崎港管理センター、日本バレーボール協会、
(公社)川崎港振興協会
- シ 事業モニタリングの実施
施設の利便性や利用率向上の為に、利用者の意見を取り入れ、ツイッターにより施設のクローズ情報や一般開放情報を発信するなど、施設の改善や業務の見直しを図った。
- ス 東扇島中公園の管理運営
川崎マリエンに隣接する東扇島中公園の管理運営として、樹木剪定、芝刈、除草及び害虫駆除等を定期的に行い、公園利用者の利便性の向上に努め適切に管理運営を行った。
- セ 桜の森とコミュニティスペースの活用
川崎マリエン敷地内にある桜の森や東扇島中公園に多種多様な樹木が植樹されていることから、これらの場所を市民が季節を感じ憩える場所とするためにテーブル・椅子を提供するなど、利用者の利便性向上のために適切な管理を行った。
- ソ 会議室・港湾事務室の環境美化
会議室・港湾事務室の環境美化を図ることにより、清潔で快適な利用環境を整えた。
- タ 無料Wi-Fiの環境整備
会議室及び研修室等において、無料Wi-Fiを利用した携帯電話、タブレット等によるネット環境を活用した会議や多目的な利用へのサービスの向上を図るため、交流棟3・4階会議室等に無料Wi-Fiの環境整備を行った。
- チ 外国人来館者への対応
案内物・掲示物に英中韓の3か国語を標記するとともに、マリエン受付に翻訳デ

バイス（POCKETALK）を用意し、外国人来館者への対応を行うなど、サービスの向上を図った。

ツ リフレッシュルームの活用

令和3年10月1日から交流棟9階にて運用を開始したリフレッシュルームを活用し、来館者の休息や食事場所として提供する他、クリスマスの時期には室内にイルミネーションの装飾を施すなど季節の装飾を行い、集客増を行った。

テ 食事情の改善

施設利用者の食事情の改善に向け調整を図り、交流棟1階にて冷凍食品の販売に加え、市内事業者による弁当の販売を開始し、利用者の利便性の向上を図った。

ト 安全性の向上

施設の案内表示、備品の保守管理を適切に行うとともに、体育室ホール周辺に監視カメラを新たに設置し、利用者の安全性の向上に努めた。

マリエン施設の利用者数（前年度との比較）

令和4年度		令和3年度	
268,770人		146,926人	
・会議室・研修室	15,792人	・会議室・研修室	9,950人
・展望室	63,356人	・展望室	68,320人
・テニスコート	27,017人	・テニスコート	27,574人
・ビーチバレー場	22,006人	・ビーチバレー場	25,426人
・体育館	5,079人	・体育館	4,970人
・川崎みなと祭り（メインイベント）		・川崎みなと祭り（メインイベント中止）	
	117,072人		0人
・その他（トレーニング室他）	18,448人	・その他（トレーニング室他）	10,686人

4. インターネットサイト等による情報提供事業

川崎港の振興と宣伝及び当協会の事業、イベント等の周知を図るため、市民及び港湾・海事関係者並びに当協会の会員等にホームページ・フェイスブック・ツイッターで随時情報を提供した。

また、マリエンと協会サイトのウェブアクセシビリティへの対応及び英語版による情報の提供を行い、より多くの方がサイトを便利に利用できるよう配慮に努めた。

・ホームページ

公益社団法人川崎港振興協会 <https://www.kawasakiport.or.jp/kyokai/>

川崎マリエン <https://www.kawasakiport.or.jp/>

※ページ別訪問数 294,050件

・フェイスブック

川崎マリエン <https://www.facebook.com/kawasakimarien/>

・ツイッター

川丸くん @kawamaru_kun

・その他の広報活動事業

川崎港及び川崎マリエンを広報するため、かわさき情報プラザへのイベントチラシ配布や下記の広報活動を行った。

- ・かわさきFM 生出演（毎月第4火曜日）
- ・タウンニュース 広告 掲載6回
- ・タウンニュース イベント告知記事、実施記事
- ・川崎市バス まど上ポスター掲出（7月1日～7月31日）
（12月2日～1月1日）
（1月31日～3月30日）
- ・京浜急行線駅ポスター掲出 10駅（7月1日～7月28日）
- ・かわさき市バスマップ 広告掲載
- ・川崎マリエン館内イベント告知及びポスター掲出（通年）

【収益事業—1】

——川崎市施設の管理運営に関する事業——

1. 川崎市港湾振興会館並びに東扇島中公園収益施設の管理運営

川崎マリエン並びに東扇島中公園の指定管理者として、港湾事務所等の収益事業部分やバーベキュー場を川崎マリエン並びに東扇島中公園の設置目的に従って適切に管理運営を行った。

・東扇島中公園内バーベキュー施設の管理運営

収益施設として、川崎マリエンに隣接する東扇島中公園内のバーベキュー施設の維持管理、案内、用具点検、有料のゴミ処分サービスを行い、利用者の安全と快適性を確保するため適切な管理運営を行った。

利用区画数	626区画	（令和3年度	276区画）
無料貸自転車	521件	（	〃 615件）

2. 自動販売機設置事業

川崎マリエン、東扇島中公園及び東扇島西公園利用者の利便性の向上を図るため、飲料水等の自動販売機を設置している。また、交流棟に冷凍食品の自動販売機を設置し、施設利用者の食事情の改善に努めた。

・交流棟	1台	・業務棟	2台	・連絡通路	1台	・展望室	1台
・テニスコート	3台	・西公園	5台			計	13台

【収益事業—2】

——川崎港関連物品等の頒布事業——

1. 川崎マリエンオリジナルグッズの製作、販売

多くの市民及び事業者に川崎港及び川崎マリエンに親しんでいただくため、マリエンに展示しているホオジロサメの剥製「かわジロー」に因んだサメのグッズの作成及び仕入れを行った。また、川崎港のシンボルキャラクター「川丸くん」の各種オリジナルグッズ等を作成して、川崎マリエン受付やガシャポンステーションにより販売した。

また、グッズ販売促進のため、ポスターや看板等によるPRを行ったり、キャンペーンとしておまけをつけるなどし、売り上げ増を図った。

2. 体育館利用者のための消耗品の販売

体育館利用者向けにピンポン球、シャトルコック等、シャワー室利用者向けにシャンプー等を販売し、利便性の向上を図った。

【収益事業—3】

——ナショナルトレーニングセンター競技別強化拠点施設の管理運営——

川崎マリエンビーチバレーコートがスポーツ庁からナショナルトレーニングセンター競技別強化拠点施設に認定されたことを受け、スポーツ庁から業務を受託し、国内トップレベルのビーチバレーボール選手が国内及び国際大会での活躍に向けてトレーニング等を強化できるよう、ビーチバレーコート並びに専用トレーニング室の適切な管理運営を行った。

【共益事業】

——会員を対象にした研修会、講演会の開催及び機関誌の発刊——

1. 会勢

- (1) 会員 270社（入会1社）
- (2) 役員 18人
 - 会長 1人
 - 専務理事 1人
 - 理事 13人
 - 監事 2人
 - 顧問 1人
- (3) 職員 14人
 - 事務局長（業務課長兼務） 1人
 - 業務課 4人
 - ポートセールス推進課 1人
 - 会館事業課 8人

2. 総会・理事会

(1) 通常理事会

- ・開催日 5月20日
- ・場所 川崎マリエン 交流棟3階 第1会議室
- ・議題 ①令和3年度 事業報告について
②令和3年度 決算報告及び監査報告について
③役員の改選（案）について
④定時総会の招集（案）について
- ・報告事項 職務執行状況の報告について

(2) 定時総会

- ・開催日 6月17日
- ・場所 ステーションコンファレンス川崎3階 Room A+B+C
- ・議題 ①令和3年度 事業報告について
②令和3年度 決算報告及び監査報告について
③役員の改選（案）について
- ・報告事項 令和4年度 事業計画及び予算について

(3) 臨時理事会

- ・開催日 6月17日
- ・場所 ステーションコンファレンス川崎3階 RoomF+G
- ・議題 ①役員の選定（案）について
②顧問の選任（案）について

(4) 通常理事会

- ・開催日 11月15日
- ・場所 川崎マリエン 交流棟3階 第1会議室
- ・議題 ①令和4年度 上半期事業報告について
②令和4年度 中間決算報告について
③会員の入会（案）について
- ・報告事項 職務執行状況の報告について

(5) 通常理事会

- ・開催日 2月15日
- ・場所 川崎マリエン 交流棟3階 第1会議室
- ・議題 ①令和5年度 事業計画（案）について
②令和5年度 予算（案）について
③資金調達及び設備投資の見込み（案）について

3. 川崎港研修会

会員店社の新入社員の方を対象に川崎港についての理解を深めていただくため、川崎港における港湾行政についての講演及び海上から川崎港を視察する研修会を開催した。

【 座学研修 】

- ・開催日 7月8日

参加者 48人
内 容 講演①「税関の業務について」
横浜税関川崎税関支署取締部門 統括監視官 萩原 貴宜 様
講演②「川崎港の概要」
川崎市港湾局港湾経営部経営企画課 担当課長 齋藤 達雄 様

【乗船研修】

・開催日 7月15日
参加者 27人
内 容 港湾局巡視船「あおぞら」に乗船し、海上から川崎港を視察

4. 川崎市港湾関係事業概要説明会

会員店社が川崎港において事業展開する際の参考となるよう、国土交通省関東地方整備局京浜港湾事務所及び川崎市港湾局から講師を招き、公共事業、港湾振興事業、将来計画、川崎港の港勢等についての説明会を開催した。

・開催日 8月25日
参加者 48人
内 容 講演①「川崎港東扇島～水江町地区臨港道路整備事業（施工状況）」
国土交通省関東地方整備局京浜港湾事務所
川崎臨港道路担当 保全課長 齋藤 竜司 様
講演②「川崎港の取り組み」
川崎市港湾局港湾経営部整備計画課 課長 白井 啓 様

5. 物流研修会

港湾をとりまく物流の変化に対応し、会員各位の事業発展に資するため、令和4年度は株式会社NX総合研究所リサーチフェロー 田阪 幹雄 様を講師にお招きし、「日本の物流の現状と課題、そして将来の方向性」と題して、研修会を開催した。

・開催日 7月7日
参加者 59人
内 容 「日本の物流の現状と課題、そして将来の方向性」
株式会社NX総合研究所 リサーチフェロー 田阪 幹雄 様

6. 「港かわさき」の発刊

川崎港の現状、将来像、物流動向、イベント情報、港湾または海に関わるエピソード等を掲載した機関誌を発刊し、会員に川崎港の最新情報を提供するとともに、市内行政機関、学校、図書館等に配布し、市民が川崎港の役割、魅力等について理解を深める一助とした。

(1) 「港かわさき70号」

発行日 8月16日
発行部数 1,000部

【主な内容】

・「みなとで働く人々」

- 第8回 川崎港コンテナターミナル内の荷役機器を動かすお仕事
- ・カーボンニュートラルの形成に向けて
港湾局港湾経営部経営企画課 課長 吉岡 大輔 様
- ・連載「川崎臨海部埋立の歴史」第8回 港湾緑化

(2) 「港かわさき71号」

発行日 1月13日

発行部数 1,000部

【主な内容】

- ・「みなとで働く人々」第9回 三田港運株式会社
- ・川崎港の魅力向上に向けて
港湾局港湾振興部誘致振興課 星 由希乃 様
- ・連載「川崎臨海部埋立の歴史」第9回 扇島埋立